



【韓国】 総合指数は週間で2.9%高と4週続伸、1900ポイントを回復

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.9%高と大幅に4週続伸。15日は国会議員選挙日で休場のため、4日間のみの取引だった。13-16日は前週末終値をはさんだ一進一退の展開。前週が7.8%高と急進しただけに、13日は利益確定売りが重荷となったが、14日は中国の貿易統計の予想上振れを受けて中国経済の減速に対する過度な懸念が和らぎ、買い戻しが優勢。休場明けの16日は景気の先行き不透明感が再び意識されて小反落した。17日は米国の経済活動の再開に対する期待から3%超の上昇となり、節目の1900ポイントを回復して約5週ぶり高値で終えた。中国のGDPマイナス成長に対する反応は限定的だった。今週も新型コロナの収束期待が引き続き相場を支えるか。国内では22日にPPI、23日にGDP成長率速報値が発表される。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は5.5%安と大幅に4週ぶり反落、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で5.5%安と4週ぶりに大幅反落。「OPEC プラス」協議で決めた減産量が予想に届かず、供給過剰懸念を受けた原油相場の大幅安が嫌気された。ブレント原油相場は15日の取引で9%近く下落し、RTS 指数は15日に7.6%安と大幅に反落。OPEC 加盟・非加盟の主要産油国による「OPEC プラス」は日量970万バレルの協調減産で合意したものの、供給過剰の解消には不十分との見方が根強く、国際エネルギー機関 (IEA) の石油需要の減少予想も原油相場を押し下げた。指数は週後半に欧米株高を受けて続伸したが、1100ドルに届かず、年初来の下落率は30.4%安。個別ではエネルギーのルクオイル、ノバテック、ロスネフチが週間で8-10%下落し、重しとなった。今週は原油相場をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は8.0%高と大幅続伸、今週も感染鈍化への期待が支援

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で4.2%高と大幅に3週続伸。新型コロナウイルス感染拡大のピークアウトによる経済活動再開への期待を背景に米株が堅調に推移し、ベトナム市場でも楽観的な見方が広がった。前週に8.0%高と大幅に続伸したVN 指数は週明け13日も1.0%高と上昇。新型コロナウイルスの感染者数の増加ペースが欧州や米国で鈍化し、感染拡大のピークアウト期待がベトナム株の支援となった。VN 指数は週明け13日から5日続伸。17日には789.60ポイントで引け、3月11日以来の水準を回復した。個別では飲料のサイゴンビール・アルコール飲料、空運のベトナム航空、小売りのモバイル・ワールド・インバーストメントが軒並み2桁%高となり、指数を押し上げた。米国などでの経済活動の再開期待が引き続き支援となるか。

▼指数チャート





【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%安、中央銀行が預金準備率を引き下げ

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%安と 4 週ぶりに反落。週末に反発したが補えなかった。13 日は金融株の一角が売られて反落したが、14 日は中央銀行が金融機関の預金準備率を引き下げたことが好感され、指数は終値で前日比 1.8%高と反発。ただ、勢いは続かず、15 日に前日比 1.7%下落すると、16 日は米商務省が前日に発表した 3 月の小売売上高（季節調整済み）が前月比 8.7%減と大幅に縮小した影響で売られ、指数は 3.1%安と続落した。17 日はトランプ米大統領が経済活動再開の指針を発表した効果で 3.4%高と反発している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開になりそうだ。

▼指数チャート

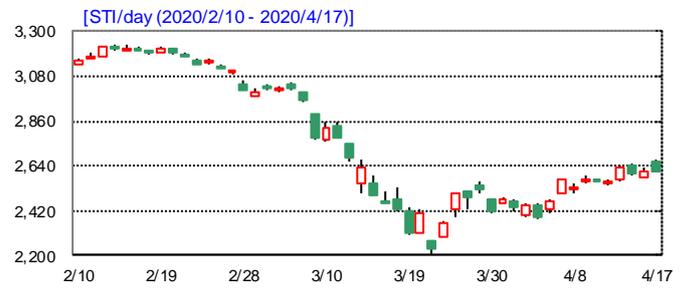


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.7%高、3 月の非石油地場輸出は前年同月比 17.6%増

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.7%高と続伸。おおむね堅調な値動きだった。週初の 13 日は小幅に反落したが、14 日は金融株が買われて前日比 2.6%高と反発し、約 1 カ月ぶりの高値を更新。15 日は反動で 1.1%下落した一方、16 日はジャーディン・マセソンなどの大型株が上昇をけん引した。17 日は 3 月の非石油地場輸出が非貨幣用金の輸出が急増した効果で前年同月比 17.6%増加し、指数は小幅に続伸。中国の 1-3 月の GDP は前年同期比 6.8%減と低迷したが、影響は軽微だった。今週は 23 日に 3 月の CPI、24 日に鉱工業生産が発表される予定。新型コロナウイルスの新規感染者数の推移も焦点になる。

▼指数チャート

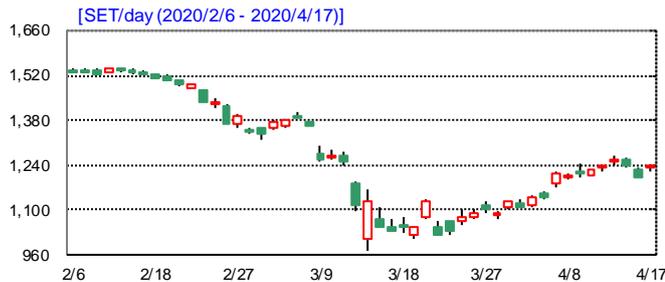


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.9%高、今週は 22 日に 3 月の貿易統計発表

SET 指数は週間で 0.9%高と 3 週続伸。週末の反発が指数を支えた。週初の 13 日は前週後半からの勢いを引き継ぎ、3 営業日続伸。14 日は中国の 3 月の輸出額が市場予想から上振れした上、米国での新型コロナウイルスの感染拡大がピークに近づいたとの見方から、同国の経済再開への期待が広がった効果で買われ、指数は終値で前日比 1.6%上昇した。15-16 日は原油価格が下落した影響でエネルギー株が指数下落を主導したが、17 日はタイ空港公社が上昇をけん引し、前日比 3.3%高と 3 日ぶりに反発して引けている。今週は 22 日に 3 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定で、市場予想を上回れば好材料。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.7%高、週末に終値で 1400 ポイント回復

クアラルンプール総合指数は週間で 3.7%高と続伸。じりじりと上値を広げ、週末に終値で 1400 ポイントを回復した。週初の 13 日は、2 月の鉱工業生産が前年同月比 5.8%増と市場予想から上振れしたものの効果は薄く、指数は小幅に続落。一方、14 日は金融株が買われて前日比 1.2%高と反発すると、15 日は前日の NY ダウが上昇した流れでさらに 1.2%高と続伸した。16 日は利益確定売りで 3 日ぶりに反落したが、17 日は米国の経済活動再開への期待感から消費関連株を中心に買い優勢となり、指数は前日比 1.5%高と約 5 週間ぶりの高値を更新して取引を終えた。今週は 22 日に 3 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。